

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2024年 3月 8日

事業所名:メルシーハウス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じた指導訓練室のスペースの確保を行っている。	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:2名	事業所の場所が変わったため、内容を知らない方もいる。新しい事業所の内覧の機会を設け、事業所内を見て頂く。
	2 職員の適切な配置	人員基準、加算基準を満たした職員配置を行っている。	はい:10名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:5名	職員の人数、職種についてホームページに記載し保護者にお知らせする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	クールダウンの部屋を設け、気持ちの切り替えを行う場所や隔離対応として活用している。	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	写真、イラストなど視覚支援を活用し、使用用途やルールを利用者に伝える。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行い快適に使えるよう努めている。	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	清掃、消毒の徹底を行っていることを保護者に周知する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の日報にPDCAサイクルを用いた活動の振り返りを行っている。		各行事、活動についてPDCAサイクルを用いて、目標設定と振り返りを行っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は実施できていない。		第三者による外部評価を取り入れ、業務改善の実施を行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に研修を行い、職員の資質の向上に努めている。		外部専門機関の研修にも参加し、質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に面談を行い、課題やニーズに沿った個別支援計画の作成を行っている。		定期的な面談の他、個別に要望があったときや気になることがあった時は、その都度相談をし計画書の見直しを行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援、集団支援の面でそれぞれ計画を立て、かつそれを組み合わせた総合的な計画の作成を行っている。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	それぞれの子どもの状況に応じた個別活動を実施し、集団活動のプログラムを増やしていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的にどのような形で支援していくかを相談し、計画書内に明確に記載している。支援についての留意点も合わせて記載している。		支援方法について明確に記載し、サービス提供記録もそれに沿った記録をしていくことで、保護者にも支援のモニタリングをしていただく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいた適切な支援の実施を行っている。毎日の記録を行うファイルに計画書を綴じ、常に職員が確認できる状態にしている。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	支援の実施において気づいたことや感じたことを職員間で共有し、より適切な支援が出来るようにする。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムについてミーティングを行い、どのような形で取り組んでいくか相談している。		幅広いプログラムを提供できるよう、職員間で意見を出し合い、プログラムを立てていく。各担当を決め、チーム全体でプログラムに取り組む。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校の疲れを取ることや宿題の取り組みを視점에置いたり、長期休暇時は活動プログラムの時間を長くするなど、それぞれに応じた対応や支援を行っている。	はい:14名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	長期休暇中など過ごす時間が長くなる時は気分転換に外に出るなど、その時の状況に応じた適切な支援を行っていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎日違うプログラムに取り組み、また同じ曜日に同じプログラムが入らないようにし、固定化したプログラム活動にならないようにしている。		毎日違うプログラムを取り入れることに合わせて、月をまたがって利用曜日で同じプログラムにならないように気を付けていく。また同じプログラムでも内容を変えていくなど飽きないような工夫をしていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にミーティングを行い、活動内容の流れや来所児童の確認を行っている。		前日の児童の動きについても再度確認する。体調不良者が出ていたり、感染症が流行しているときは、対応の確認を行う。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にミーティングを行い、その日の支援の振り返りで情報共有をしている。また次回の内容の確認を行っている。		送り時の送迎車内の様子を各職員から報告してもらい、注意点、支援方法を共有する。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供記録にて支援内容の記録を行い、また支援の振り返りと改善を行い、その記録も行っている。		集団活動についての振り返りも行い、適切なプログラムの提供に努める。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個別支援計画の見直しを行い、状況の報告や支援の経過について会議を実施している。		定期的な会議の他にも、支援内容や方法について相談がある場合には、その都度会議を行い、計画の見直しを行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	指導員、児童発達支援管理責任者、他の事業所の職員や学校の先生を交えたサービス担当者会議を実施している。	サービス担当者会議への参画を増やし、学校、他事業所との連携を深めていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	服薬リスト、緊急搬送先などを記載した連絡シートを作成し、各関係機関との情報共有を行っている。	保護者や対象児童に関わる各関係機関と情報交換を積極的に行い、連携を深めていく。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	患者番号等を記載した安心シートを作成し、救急搬送時に救急隊員に渡せるようにしている。	かかりつけ医や服薬の情報を記載した書類を事務所内に保管し常に確認できる状態にしておく。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所と情報共有を行い、受け入れの相談や紹介等を行っている。	児童発達支援事業所からの移行の時期に合わせて情報共有を行ったりと、積極的にアプローチをしていく。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	事業所等に支援内容についての情報提供を行い、特に気を付ける点などを詳しくお伝えしている。	卒業の時期に合わせて、障害福祉サービス事業所等に情報提供を行い、卒業後円滑に支援が行えるようサポートしていく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関主催の研修の受講を行い、質の向上に努めている。	各種専門機関の情報を確認し、積極的に研修の受講を行う。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナウイルス感染防止の為、事業所以外の児童との交流は実施できていない。	はい:4名 どちらともいえない:1名 いいえ:3名 わからない:7名	規制が緩和され、地域行事等が再開しているので、様々な地域行事に参加し、障害の無い子どもとの活動の機会を設ける。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナウイルス感染防止の為、地域住民との交流は実施できていない。	はい:4名 どちらともいえない:1名 いいえ:3名 わからない:7名	zoom等のオンラインのツールを活用したり、短時間・小規模でも地域住民との交流の機会を設ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援内容、利用者負担についての説明を行っている。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	わからない点に関して契約時にお聞きする他、常時質問を受け付けるようにする。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を用いて、支援内容の具体的な説明を行っている。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	事業所内での面談の際は事業所内での動きやおもちゃや教材などを示しながら説明していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談の中で、子どもとの向き合い方や関わり方についての助言やアドバイスを行っている。	はい:8名 どちらともいえない:1名 いいえ:4名 わからない:2名	課題解決の為、お家で実践できることを提案し、取り組んで頂くようにする。お家での取り組みの様子をお伺いし、助言や新たな取り組みの提案を行う。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々子どもの状況をお知らせし、また保護者からもお家での様子をお知らせいただき意見交換を行っている。	はい:14名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:0名	こちらからお家での様子をお伺いし、積極的に情報交換を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様からご相談があった際に、対応方法や解決方法を一緒に考えたり、助言を行っている。	はい:15名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名	引き続きご相談があった際には丁寧に対応方法や解決方法を助言したり、こちらからお困りの点がないかどうかを聞くようにする。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナウイルス感染防止の為保護者会の開催が出来ていない。	はい:1名 どちらともいえない:2名 いいえ:6名 わからない:6名	zoom等のオンラインのツールを活用したり、短時間・小規模でも保護者会の開催を行う。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情等がある場合の連絡先、担当者を記載した書類を契約時にお渡ししている。また苦情等があった場合は迅速に対応を行っている。	はい:12名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:3名	苦情対応について再度保護者に周知し、理解を深めてもらうようにする。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉では理解が難しい場合は、目でみてわかるようなプリントやボード、イラストなどを用意し、視覚支援を中心とした対応を行っている。	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	情報伝達のためのツールとして活用しているものを保護者に情報提供を行い、円滑に情報伝達ができるようにしていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	インスタグラムを活用し、行事内容や日々の様子について定期的にお伝えしている。行事予定については利用者カレンダーに記載し実施している。	はい:11名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:3名	事業所だよりを作り、書面で配布するなど、SNS等を使われていない方にも発信する。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関する取扱いについての書類を契約時にお渡ししている。ホームページやインスタグラムの更新の際は顔が写らないよう写真を加工している。	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	個人情報の取扱いについて引き続き厳重に管理するとともに、保護者に周知する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定し契約時にお渡ししている。	はい:13名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:1名	各種マニュアルの定期的な見直しを行い、常に最新の情報を提供する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を定期的実施し、子どもや職員の動きを確認している。	はい:14名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:1名	必要な訓練の実施日を増やし、全ての利用者が様々な機会に訓練を受けられるようにしていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	定期的に虐待についての研修を行っている。		自立支援協議会等、外部機関の研修の参加も行き、質の向上につなげる。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	緊急時等、やむを得ず身体拘束を行う場合について、予め保護者に説明し了解を得ている。またその旨を計画書に記載している。		具体的な状況などを例に挙げながら、身体拘束についての説明を行い、了解を得られるようにする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーについての情報をお聞きし、書類に記入していただいている。		年度毎に基本情報を更新するようにし、アレルギーやその他医師の指示に基づく適切な対応を行うようにする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成、保存を行い、職員内で共有をしている。		最近の事件等を含めたヒヤリハット事例集を作成し、職員内で共有するようにする。